平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名　東邦化学工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4409　URL　http://www.toho-chem.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中崎　龍雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長　(氏名) 井上　豊　TEL 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	26,634	△2.1	857	△3.0	568	△2.4	289	186.1
24年3月期第3四半期	27,196	5.7	883	△27.4	583	△43.7	101	△82.2

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　337百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△23百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	13.58	―
24年3月期第3四半期	4.75	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	43,047	8,365	19.3
24年3月期	42,962	8,155	18.9

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　8,310百万円　24年3月期　8,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	6.00	6.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△2.3	1,050	△10.6	900	17.1	580	259.0	27.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	21,350,000 株	24年3月期	21,350,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	15,297 株	24年3月期	14,947 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	21,334,983 株	24年3月期3Q	21,335,702 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)個別業績

平成 25 年 3 月期の個別業績予想(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,400	0.5	810	8.8	600	21.6	400	723.4	18.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の我が国経済は、前半こそ復興特需やエコカー補助金に支えられ内需主導の緩やかな回復がみられましたが、海外経済の長引く減速と夏場にかけての円高の影響や政策効果の一巡に伴い、景気の停滞感が強まりました。

年末にかけて円高の是正や中国経済に持ち直しの動きなど、先行きに明るい兆しが見え始めていますが、依然として、欧州債務問題の行方や海外経済の先行きに対する不確実性など不透明な要因が多く、今後も予断を許さない状況が続くことが予想されます。

化学業界におきましても、海外経済の減速に伴う石油化学製品の輸出減少、国内では増加する輸入品との競争激化など、厳しい経営環境が続きました。

このような経営環境下、当社グループの当第３四半期連結累計期間の売上高は、主力の界面活性剤やスペシャリティーケミカルのセグメントは増収となったものの、化成品セグメントでの合成ゴム・ＡＢＳ樹脂用ロジン系乳化重合剤の大幅な落ち込みが影響し、前年同期比５億61百万円、2.1%減収の266億34百万円となりました。

利益面は、売上高の苦戦が影響し、営業利益が、前年同期比26百万円減益の８億57百万円、経常利益が、前年同期比14百万円減益の５億68百万円となりました。

四半期純利益は、特別損失などの減少により前年同期比１億88百万円増益の２億89百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

（界面活性剤）

トイレタリー用界面活性剤は、ヘアケア用新基剤の販売増と前年前半に原料不足問題で大きく落ち込んだ一般洗浄剤の回復により増収となりました。プラスチック用界面活性剤は、主力の帯電防止剤が伸び悩み、乳化重合剤も海外需要向けが振るわず、減収となりました。土木建築用薬剤は、コンクリート関連薬剤が好調に推移し増収となりました。紙パルプ用界面活性剤は、サイズ剤をはじめ全般的に低調で減収となりました。農薬助剤は、乳剤用などの海外需要向けが引き続き伸長しました。繊維助剤はほぼ横這いでした。

その結果、セグメント全体の売上高は、前年同期比６億75百万円、4.8%増収の146億44百万円となり、セグメント利益は、前年同期比４億13百万円増益の８億57百万円となりました。

（樹脂）

石油樹脂は、原料不足の制約もあり販売が伸び悩み、微増に止まりました。合成樹脂は、断熱フォーム用ウレタン樹脂が増加したものの、土木関連の止水剤などが振るわず減収となりました。樹脂エマルションは、金属表面処理剤や複写機トナー用添加剤が落ち込み、減収となりました。

その結果、セグメント全体の売上高は、前年同期比54百万円、2.0%減収の27億７百万円となり、セグメント利益は、前年同期比９百万円減益の19百万円となりました。

（化成品）

合成ゴム・ＡＢＳ樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外向け販売数量の落ち込みと原料価格下落による売価の低下が相俟って、大幅な減収となりました。金属加工油剤は、水溶性切削油剤の販売増により若干の増収となりました。石油添加剤は、脱ロウ助剤などが振るわず減収となりました。

その結果、セグメント全体の売上高は、前年同期比14億12百万円、30.8%減収の31億69百万円となり、セグメント利益は、前年同期比１億40百万円減益の37百万円となりました。

（スペシャリティーケミカル）

溶剤は、電子材料用や医薬品製造用が低調でしたが、ブレーキ液用やその他一般溶剤の販売増により、増収を確保しました。電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、全般的に需要が底堅く、また、新規開発製品の販売増加も寄与し、増収となりました。アクリレートも電子情報材料向けが大口ユーザーからの受注回復に伴い増収となりました。

その結果、セグメント全体の売上高は、前年同期比２億32百万円、4.0%増収の60億54百万円となり、セグメント損失は40百万円（前年同期はセグメント損失71百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は430億47百万円と前期末比85百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が８億53百万円減少の220億55百万円、固定資産が９億39百万円増加の209億92百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が４億23百万円の減少、受取手形及び売掛金が47百万円の増加、たな卸資産が１億64百万円の減少です。固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が９億21百万円の増加です。

一方、負債合計は、346億82百万円と１億24百万円の減少となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が97百万円の減少、賞与引当金が１億88百万円の減少、設備関係支払手形の減少を主因とするその他（流動負債）が３億30百万円の減少、社債（１年内償還予定の社債合算）が４億円の増加、長期借入金が３億44百万円の増加、リース債務の減少を主因とするその他（固定負債）が１億59百万円の減少です。

純資産は、83億65百万円と２億９百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が配当金の支払と四半期純利益との差額の１億61百万円の増加、その他の包括利益累計額が47百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は19.3％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、依然として製品需要が弱含みで厳しい事業環境が続いており、個別業績は、前回予想を下振れる見込みです。一方、連結業績は、昨年末からの急激な円安に伴う海外グループ子会社の為替差益の寄与により、経常利益、当期純利益が前回予想を上振れる見込みです。

つきましては、平成24年11月９日に公表しました通期業績予想を連結、個別ともに修正しております。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,847	5,423
受取手形及び売掛金	9,535	9,582
たな卸資産	6,724	6,560
その他	802	489
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	22,909	22,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,283	7,035
機械装置及び運搬具（純額）	3,228	2,844
土地	3,319	3,281
建設仮勘定	1,251	3,012
その他（純額）	1,683	1,512
有形固定資産合計	16,766	17,687
無形固定資産	662	668
投資その他の資産	2,624	2,636
固定資産合計	20,053	20,992
資産合計	42,962	43,047

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,400	7,303
1年内償還予定の社債	900	1,500
短期借入金	5,532	5,548
未払法人税等	166	24
賞与引当金	322	134
その他	2,565	2,235
流動負債合計	16,887	16,745
固定負債		
社債	4,320	4,120
長期借入金	9,036	9,381
退職給付引当金	2,838	2,886
役員退職慰労引当金	144	129
資産除去債務	56	55
その他	1,523	1,363
固定負債合計	17,919	17,936
負債合計	34,807	34,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	5,394	5,556
自己株式	△3	△3
株主資本合計	8,042	8,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172	211
為替換算調整勘定	△113	△104
その他の包括利益累計額合計	58	106
少数株主持分	54	54
純資産合計	8,155	8,365
負債純資産合計	42,962	43,047

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	27,196	26,634
売上原価	23,252	22,639
売上総利益	3,943	3,995
販売費及び一般管理費	3,060	3,137
営業利益	883	857
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	33	35
物品売却益	21	26
その他	38	38
営業外収益合計	98	103
営業外費用		
支払利息	260	259
その他	139	132
営業外費用合計	399	391
経常利益	583	568
特別利益		
投資有価証券売却益	2	－
特別利益合計	2	－
特別損失		
固定資産廃棄損	25	13
投資有価証券評価損	19	10
投資有価証券売却損	1	－
固定資産売却損	－	1
災害による損失	52	－
特別損失合計	100	25
税金等調整前四半期純利益	485	543
法人税等	380	253
少数株主損益調整前四半期純利益	105	290
少数株主利益	3	0
四半期純利益	101	289

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	105	290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	38
為替換算調整勘定	△78	9
その他の包括利益合計	△128	47
四半期包括利益	△23	337
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25	337
少数株主に係る四半期包括利益	2	0

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	界面活性剤	樹脂	化成品	スペシャリティーケミカル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,968	2,761	4,582	5,821	27,134	62	27,196	－	27,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	152	152	△152	－
計	13,968	2,761	4,582	5,821	27,134	214	27,348	△152	27,196
セグメント利益又は損失（△）	443	28	177	△71	578	36	614	268	883

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析および物流倉庫業務等を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失（△）の調整額268百万円には、棚卸資産の調整額184百万円等が含まれております。
３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	界面活性剤	樹脂	化成品	スペシャリティーケミカル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,644	2,707	3,169	6,054	26,575	58	26,634	－	26,634
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	185	185	△185	－
計	14,644	2,707	3,169	6,054	26,575	244	26,820	△185	26,634
セグメント利益又は損失（△）	857	19	37	△40	874	52	926	△69	857

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析および物流倉庫業務等を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失（△）の調整額 △69百万円には、棚卸資産の調整額 △46百万円等が含まれております。
３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。